

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	アイアンクリン
会社名	株式会社ニューホープ
住所	〒350-0226 埼玉県坂戸市本町 7-17
電話番号	049-277-5333
FAX 番号	049-277-5334
作成日	2020 年 7 月 10 日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分 2 A
水生環境有害性(急性)	区分 3
ラベル要素	
絵表示	



注意喚起語	警告
危険有害性情報	皮膚刺激 強い眼刺激 水生生物に毒性
注意書き	
予防策	取扱う前に、安全データシートをよくお読みの上作業して下さい。 (混同の危険性)本物質は還元剤であり、酸化剤(過酸化水素、ブロム酸ソーダ等)と混合すると危険である。場合によっては発火の恐れもある。 取扱中は適切な保護具を着用して下さい。 取扱後は、手、顔などをよく洗い、うがいをして下さい。
救急処置	眼に入った場合は直ちに清浄な流水で 15 分以上洗浄して下さい。 皮膚に付着した場合は直ちに清浄な流水で十分水洗いして下さい。 吸入した場合は直ちに新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。
保管	飲み込んだ場合は大量の水を飲ませ医師の手当てを受けて下さい。 直射日光を避けて冷暗所に密栓して保管して下さい。酸化剤と同一の場所に保管しないで下さい。
廃棄	内容物や容器は、該当法規に従い都道府知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

3. 組織、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分	チオグリコール酸アンモニウム
	界面活性剤
	有機酸
	香料
	水

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移す。気分が悪い場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに流水で十分水で洗い流す。
眼に入った場合	直ちに清浄な水で充分洗眼する。念のため医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	大量の水を飲ませ医師の診断、手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法/消火剤	本物質と過酸化水素等の酸化剤は別の場所に保管して周辺に散水して類焼を防ぐ。
火災危険性に関する特別所見	知見なし
爆発危険性に関する特別所見	知見なし

6. 漏出時の措置

少量の漏出及び漏洩	ペーパータオル、ウエス等で拭き取り、その後多量の水で洗い流す。
大量の漏出及び漏洩	回収可能であればポリ缶等の空容器に回収後、多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱	眼、皮膚に触れぬよう、保護眼鏡等の保護具を着用する。又本物質は金属に接触するため、取り扱う容器はガラス、陶器、ポリエチレン等を選ぶこと。
保管	直射日光を避け、冷暗所に密閉して保管する。酸化剤と同一場所に保管しない。 保管容器はポリエチレン等の樹脂製又はガラス及び陶器製の容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

保護具	
呼吸器用の保護具	通常の取扱で特に必要ない。
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣
管理濃度及び許容濃度	未設定

9. 物理的及び化学的性質

外観	無色透明液体(但し、鉄と反応して濃紫色に変色する。)
臭い	特異臭
pH	6.5±0.5
比重	1.08±0.03
溶解性	水に任意に溶ける。

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の手扱いでは安定である。長期保管において純度低下がある。
危険有害反応性	知見なし

11. 有害性情報

刺激性	
皮膚	ウサギ 17.5% (RTECS) 皮膚刺激性のデータがあることから区分2とした。
眼	ウサギ 17.5% (RTECS) 眼刺激性のデータがあることから区分2 ATO した。
急性毒性	経口 ラット LD ₅₀ =3,500mg/kg (チオグリコール酸アンモニウム) (RTECS) から59.3%に換算するとLD ₅₀ =5902mg/kg となるため区分外とした。

12. 環境影響情報

分解性	データなし
蓄積性	データなし
魚毒性	データなし
COD	8300mg/L (1%チオグリコール酸アンモニウム液) 50%チオグリコール酸アンモニウム液に換算すると 8,300×50÷1.2=346,000mg/L
BOD	1,700mg/L (1%チオグリコール酸アンモニウム液) 50%チオグリコール酸アンモニウム液に換算すると 1,700mg×50÷1.2=70,800mg/L

13. 廃棄状の注意

都道府県の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
当該法規に従って廃棄物を処理する。(国、都道府県並びにその地方の法規条例に従う)

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れが無い事を確かめ衝撃、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れ防止を行い、輸送中は直射日光を避ける。
また酸化剤との混載を避ける。

15. 適用法令

適用法規	
消防法	非該当
労働安全衛生法	通知対象物質に該当しない。
P R T R 法	非該当
毒劇法	非該当

16. その他の情報

記載した内容は現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により、改訂されることがあります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。本製品を使用するに当たって提供された情報を適用をするかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行って下さい。

全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるという事を保証するものではありません。以上は情報提供であり、本情報による指示に従って本物質が取扱われようといまいと、本物質の取り扱いによって生じる損害等の結果に対する責任については、一切責任を負いません。